



(仮称) 玉浦学習館設置

飯塚 悦男

問 地域の学習の場、地域文化の拠点として親しまれてきた寺島学習館、下野郷学習館が廃止となったことについて考えを伺う。

市長 生涯学習の拠点として、地域の皆さんに親しまれ、活用してきました。残念ですがやむを得ない思いです。

教育長 地域の中心としてきましたが、役目は果たしたと思います。

生涯学習センター建設を

問 玉浦小学校、中学校周辺の区画整理事業でできた恵み野地内に学習館の伝統を受け継ぐ生涯学習センターを建設し、公民館と一体化する(仮称)玉浦学習館を設置してはどうか。

教育長 玉浦公民館を充実し、玉浦中学校に公民館と一体と使える部分もありますので、それらを含めて機能充実を図っていきます。

問 学校の施設を使うことに違和感はないのか。

教育長 公民館、付随しての中学校も使えることになれば充実した活動になります。

問 学校と公民館の連携はとれているか。

生涯学習課長 学校の学習に影響のない土曜日を使っています。

問 住民がいろいろな講座、サークル活動するには、生涯学習センターのような公民館機能を持つ施設も必要ではないか。

教育次長 新しい提案については、市長部局とよく相談して対応していきます。

問 下野郷学習館は河川改修事業で用地買収、建物補償で買収費、補償費が市に入るのか。

副市長 五間堀川の改修で決まっております。資産は市で管理し、財源を受け取ります。

問 玉浦を生かす施設が必要ではないか。

教育次長 玉浦に活用してはどうかという提案ですが、市当局と調整していきます。



協働のまちづくり推進

大友 克寿

問 一昨年に開設した市民活動サポートセンターのこれまでの運営状況と利用状況を伺う。

総務部長 さわやか市政推進課が運営管理の窓口になり、受付等の業務は正職員と臨時職員により対応しています。利用者数は、24年度は1日当たり4人程度でしたが、25年度は5人程度となっております。徐々にですがサポートセンターの存在が市民の皆さまに周知されてきているものと考えます。

問 現在の施設(旧勤労青少年ホーム2階の一室)から(移動して)、他の公共施設の活用は検討しているか。

市長 これまでの利用状況から、まずは今の場所をできるだけ利用していただく方を増やすためにPRを行いたいと思います。

問 いわぬま市民活動一覧(23年1月発行)の活用状況と情報の更新はどのようになっているか。

総務部長 いわぬま市民活動一覧については、21年度の市民提案事業として採択され、23年1月に発行されたものです。これまで市民

活動団体などへ配付され、またサポートセンターでの相談業務の際に使用しています。情報の更新については、発行から3年が経過し、活動団体の再編や休止なども見受けられますので、現在は情報収集を行っている段階です。

サポーター制度の検討を

問 まちづくりへ積極的に参画してもらうための仕組みとして、(仮称)まちづくりサポーター制度という名簿登録制度を構築しているという自治体もある。参考にしているか。

市長 まちづくりサポーター等については、市の担当では情報等を十分に把握してはいますが、市としては、いわぬま市民活動一覧や人材バンクといった、既存の情報提供や情報収集等の手段があります。まずはこれらを活用して、人材や団体を市民活動サポートセンターが必要な方に対して橋渡しをすることで、同様の効果を上げることができると考えます。